

## 外部の方からの学びあれこれ

教育週間を中心として、多くの方々をお招きして、講師として授業をしていただきました。

専門の方の話は、現場の生の情報であったり、キャリアを基にした子どもたちへのメッセージが強かったりするので、学びの機会としてたいへん意義があると考えています。今号では、その紹介をします。

### □メディアとの向き合い方

松元リカバリークリニック 公認心理士・精神保健福祉士 三谷亨先生

「ゲーム依存ってナニ?～小学生から始める依存症予防～」というテーマで、依存症とは何かや、ゲーム依存時の脳の状態と生活への影響、依存症にならないために規則正しい生活習慣を送ることの科学的根拠等々を、事例や研究報告を交えながらお話してくださいました。

ゲームやスマホ、タブレットなどに触れる時間が長くなっていると感じている子どもからは、「依存症は怖いことが分かった。」「自分はしている時間が長いので、短くしよう。」という振り返りがありました。配布資料がありましたので、保護者の皆様もぜひご覧ください。

なお、資料には載っていませんが、東北大学が3年間かけて行った研究の紹介がありました。「毎日メディア機器を長く使用している子どもは、そうではない子と比較して、3年間で脳の発達に明確な格差が生じていた」という結果が出たとのことでした。書籍やインターネット上に詳細が示されていますので、検索されてはいかがでしょうか。<HP⇒ [土曜授業 | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](http://nagasaki-city.ed.jp)>



### □長崎・ヒバクシャ医療国際協力会 (NASHIM) 出前授業

長崎大学原爆後障害医療研究所 阿部悠先生 長崎県保健福祉部原爆被爆者援護課 谷口雄一様  
平和をテーマに学習している5年生に、原子爆弾による放射線被害やその他の被曝事例の紹介、放射線のリスクだけではなく、医療での活用等について話していただきました。授業後に阿部先生は、「子どもたちは、原子爆弾と放射線についてよく学んでいます。質問のレベルが高かったです。」と感想を述べておられました。

### □キャリア教育としての法教育

弁護士鷲見賢一先生 弁護士川島陽介先生



6年生が、キャリア教育の一環として、また社会を構成するうえでの法律の意義等を知るために、弁護士の先生方に授業をしていただきました。弁護士の仕事内容や一日の仕事の流れ、必要な物や心構えから、遺産相続を法律に従って考える、弁護士になるための道筋や伸ばしておくべき能力等まで詳しく説明してくださいました。

弁護士や裁判、法律が、「ドラマなどで視聴する別世界のこと」から、「案外身近な人と人が織りなす人間模様」と感じるものとなったようです。

<HP⇒ [キャリア教育推進事業～弁護士による法教育 | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](http://nagasaki-city.ed.jp)>

### □学校評議員会

本校には3名の学校評議員がおられます。(柴原重信様、山口誠二様、松尾和実様) 直接子どもたちにお話をさせていただいたわけではないのですが、学校経営方針や教育目標、子どもたちの様子等について伝えた後、全ての学級を参観していただき、気づきを伝えていただきました。

## □100人パトロール

4年ぶりに「100人パトロール」を実施しました。子どもたちの地区別集団下校にあわせて、「子どもを守るネットワーク」松尾会長様はじめ、多くの地域会員の皆様にご協力いただきました。

登下校時や帰宅後、休日の子どもの見守りは、地域の皆様無くしてはできないことを、あらためて感じました。

<HP⇒ [100人パトロール | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](http://nagasaki-city.ed.jp)>



## □家族証言者講話会

長崎市永井隆記念館 館長 /NPO法人長崎如己の会 理事 永井徳三郎様

永井隆博士のお孫さん徳三郎様より、家族証言者として、おじい様の隆博士の自身も被爆しながら懸命に救護活動にあたったことや、自宅があった場所で奥様の骨とロザリオを拾ったこと、寝たきりとなった後は執筆活動に励んでベストセラー作家となり収入のほとんどは平和に関する事業に寄付したことなどを伝えてくださいました。

お父様の誠一さんからは、「当時10歳だった自分は、被爆後に自宅のあった場所に行き、畳一畳ほどに広がった母親の骨を見て涙が止まらなかった。」という話を聞いたと伝えてくださいました。スライドの最後のメッセージ「こころやさしく いのちたいせつに ささえあい たすけあうきもち」がすうっと心にしみ込んでくる講話でした。



<HP⇒ [家族証言講話の会 | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](http://nagasaki-city.ed.jp)>

## □2年生生活科「川遊び」

7月7日(金)に、土井首地区の河川環境保全活動をされている梅原勝廣様(竿浦町自治会長)をお招きして、2年生生活科「川遊び」の活動をサポートしてもらう予定でした。あいにくの雨で活動は延期しましたが、天気が回復し実施する際には、あらためてお招きします。

学校では、なるべく多くの方々に、子どもたちの学習に関わっていただきたいという希望を持っています。例えば、国語科の短歌や俳句、書道、理科の飼育栽培活動、社会科・総合的な学習の地域の歴史、家庭科の裁縫、体育科の各種運動等々、サポートがほしい学習は様々あります。

来校が可能であれば、校長寺田か、教頭福島までご一報ください。(南陽小 ☎879-0276)

また、学校で情報を得て講師等の依頼をする場合があります。その際にはぜひお引き受けいただけると有り難いです。